

平成 19・20 年度 土木学会複合構造委員会 第 6 回幹事会議事録

1. 日 時：平成 20 年 4 月 11 日（金）13:00～16:30
2. 場 所：土木学会 F 会議室
3. 出席者：中島委員長，横田副委員長，渡辺幹事長，大垣幹事，葛西幹事，杉浦幹事，武知幹事，西崎幹事，古市幹事，溝江幹事，山口幹事，岡田事務局（欠席者：池田幹事，大山幹事，島幹事，田中幹事，本間幹事）（敬称略）
4. 配布資料
資料 幹 6-1 平成 19・20 年度 第 5 回幹事会議事録（案）
資料 幹 6-2 平成 20 年度重点研究課題の審査・選考結果について
資料 幹 6-3 平成 19 年度目標/計画と実施状況・今後の課題
資料 幹 6-4-1 複合構造委員会平成 19 年度決算案・平成 20 年度予算案
資料 幹 6-4-2 第 7 回複合シンポジウム行事報告書
資料 幹 6-4-3 新材料を用いた複合構造講習会 行事報告書
資料 幹 6-5 行事還元金の取扱いについて
資料 幹 6-6 平成 20 年度全国大会研究討論会
資料 幹 6-7 複合構造標準示方書小委員会
資料 幹 6-8 複合構造委員会運営細則
資料 幹 6-10-1 「最新複合構造の現状と分析」「各種新材料の特性と新しい複合構造の性能評価」に関する講習会 行事計画書・会告案
資料 幹 6-10-2 複合構造レポート 03「各種新材料の特性と新しい複合構造の性能評価」概要
資料 幹 6-11 FRP 橋梁シンポジウムについて
5. 議事次第
 - (1) 第 5 回幹事会議事録案の確認（資料 幹 6-1）
溝江幹事より第 5 回幹事会議事録案について説明があり了承された。
 - (2) 平成 20 年度重点研究課題選考結果について（資料 幹 6-2）
中島委員長より「複合構造標準示方書の作成」申請が採択されたことが報告された。
 - (3) 平成 19 年度目標/計画と実施状況・今後の課題（資料 幹 6-3）
中島委員長より平成 19 年度のアクションプランについて、達成度の最終評価を学会に提出したことが報告された。
 - (4) 日経コンストラクションの取材について
中島委員長より，全体については中島委員長が，FRP については西崎幹事および山田委員が対応し，日経コンストラクション 4/11 号に取材内容が掲載されたことが報告された。
 - (5) 平成 19 年度決算案・平成 20 年度予算案（資料 幹 6-4，幹 6-5）
渡辺幹事長より平成 19 年度決算案と平成 20 年度予算案について説明があった。
・平成 19 年度決算に対しては，行事会計を別枠として取扱うことについて確認する．また繰越金額は学会が算定するため，現時点では確定していない。

- ・平成 20 年度予算案は、以下の内容で予算配分とすることとなった。
 委員会の交通費を廃止し、その予算を示方書小委員会に配分する。
 平成 20 年度重点研究課題の助成金はそのまま示方書小委員会に充てる。
 国際連携小委員会に日韓台ジョイントセミナー発表者の交通費を配分する。
 複合構造シンポジウム小委員会に建築学会との準備費用として予算を充てる。
 幹事会およびその他の小委員会は平成 19 年度予算と同額とする。

- (6) 平成 20 年度全国大会研究討論会（資料 幹 6-6）
 西崎幹事より平成 20 年度全国大会研究討論会について説明があった。
 ・テーマは「FRP がつくる新たな複合構造」とする。
 ・座長の上田先生をはじめ、5 名の話題提供者から内諾を得ることができた。
 ・全体時間が従来の 90 分から 120 分に変更となる可能性があるため、話題提供の 1 名当たり時間を延ばすような対応を検討することとなった。

- (7) 日韓台ジョイントセミナー
 横田副委員長より日韓台ジョイントセミナーについて説明があった。
 ・ジョイントセミナーは 11/19～21 に台北で開催される^{イアセック}EASEC2008 に合わせて開催することとなった。
 ・発表は、日本 3 篇、台湾 1 篇、韓国 3 篇の合計 7 篇を予定している。日本からの 3 篇は以下を予定している。
 複合構造示方書について（複合構造示方書小委員会）
 複合構造物の現状調査報告について（現状調査小委員会）
 複合構造形式による誘導路について（山口幹事）

- (8) 複合構造標準示方書小委員会の設立（資料 幹 6-7）
 渡辺幹事長より複合構造標準示方書小委員会の設立について説明があった。
 ・現在の性能照査指針小委員会は 3/31 で活動を終了し、複合構造標準示方書小委員会の部会に移行することが確認された。
 ・委員構成は上田委員と田中幹事が検討を進めている。
 ・示方書小委員会は 5 月頃の立ち上げを目指すこととなった。

- (9) 複合構造委員会運営細則の改正（資料 幹 6-8）
 横田副委員長より運営細則の改正案について説明があった。
 ・次回幹事会にて審議し、次回の第 3 回委員会に幹事会の案として提出することとなった。
 ・出版に関する取り決めは、申し合わせとして取扱うこととなった。

- (10) 複合構造レポート 02「最新複合構造の現状と分析」作成状況
 葛西幹事より「最新複合構造の現状と分析」の作成状況について説明があった。
 ・4/24 を目処に査読を開始する予定である。
 ・小委員会名簿の所属記載は、複合構造レポート 01 と同じ形式とする。
 ・アンケート調査結果は小委員会で紙面掲載の必要性を検討してもらうこととなった。

- (11) 「最新複合構造の現状と分析」「各種新材料の特性と新しい複合構造の性能評価」に関する講習会 行事計画書・会告案（資料 幹 6-10-1, 幹 6-10-2）

山口幹事より講習会の計画および会告案と複合構造レポート 03「各種新材料の特性と新しい複合構造の性能評価」の作成状況について説明があった。

- ・講習会は参加者数 100 名とした場合に収支がまとまる予算を作成したことが報告された。
- ・会告案について説明があった。
- ・複合構造レポートの表紙は、レポート 01 と同じ色およびデザインで固定とすることとなった。

(12) FRP 橋梁シンポジウムについて（資料 幹 6-11）

西崎幹事より FRP 橋梁シンポジウムの開催方式について、FRP 複合橋梁小委員会の検討結果の説明があった。

- ・FRP 複合橋梁小委員会では「FRP」の名称を残したいため、複合構造シンポジウムとは別開催としたいという報告があった。
- ・シンポジウムの名称は「FRP 構造シンポジウム」とする提案が出された。
- ・FRP 橋梁シンポジウムを担当する常設小委員会を設置する提案が出された。
- ・開催形式は、以下の 3 案について小委員会で検討し、幹事会に報告することとなった。

2009 年度に小委員会の活動報告となる講習会と合わせて開催する案

2010 年では間が開きすぎるため 2009 年 1 月に開催する案

2009 年の複合構造シンポジウムと同時に開催する案

- ・維持管理も含めて、FRP シンポジウムの進め方を検討していくこととなった。

(13) その他

- ・今後の幹事会開催予定案

第 7 回幹事会	2008.5.9	(金)	15:00～17:00	土木学会
第 3 回委員会	2008.6.27	(金)	時間未定 (場所	土木学会)
第 8 回幹事会	2008.7.18	(金)	時間未定 (場所	釧路)
第 9 回幹事会	2008.9.11	(木)	時間未定 (場所	仙台)
第 10 回幹事会	2008.10.31	(金)	時間未定 (場所	土木学会)
第 11 回幹事会	2008.11.		時間未定 (場所	台湾)
第 12 回幹事会	2008.12.12	(金)	時間未定 (場所	鳥取)
第 4 回委員会	2009.1.22	(木)	時間未定 (場所	土木学会)
第 13 回幹事会	2009.2.27	(金)	時間未定 (場所	鹿児島)
第 14 回幹事会	2009.3.		時間未定 (場所	未定)

以上（記録・文責 武知 勉）